田原公民館報

平成31年
新年号

発行
公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市茗荷町1078－1
ＴＥＬ　81-0888
発行責任者
泉森　由貴

「月刊田原」

館長　泉森（いずもり）　由貴（よしたか）

新年あけましておめでとうございます。

田原地区の皆様におかれましては、伝統的な習わしのもと、お正月行事を継承されていることに敬意を表したいと思います。各所の氏神様に守られた地域の存在を認識する一年で最も神々しくあるときですね。

さて、皆さんは「月刊田原」をご存じですか。昭和の初期から30年代まで発行されていた地域新聞です。それは単なる行事回覧ではなく、また旧田原村発行の広報紙でもない、地域選出の編集委員が作成した田原のための情報誌でした。ある日、蔵の整理をしていたら古い冊子が出てきたと。「活用してもらえるなら、公民館に進呈したい。」そうおっしゃって地域の方が持ってきてくださったのです。日焼けした紙はパリパリと音を立てながら、静かに70年前の田原を教えてくれました。

そこには、毎号数ページにわたって色々な世代の声が掲載されています。子どもたちの寄稿文、青年団の主張、消防団からの連絡、婚姻、出生、死去の記録、時には離縁の話まで。個人情報を多分に含んだお知らせは現在では考えられないでしょうが、おそらく時代が、そして世間が求めていた情報だったんだろうと思います。

遠足の思い出。畑を手伝ったこと。バスに揺られて町へ出たことなど子どもたちの文面はとても微笑ましく感じます。寄稿されている名前をみると現在、現役でこの地域で中心的に活動している自治会や万青の方々が見つかります。発行当時はニュースに。綴じて残すと生活に必要な記録として。そして今となっては時代を映す鏡として現在を生きる私に語りかけてきます。

150回記念号にはこんなことが書かれてあります。「全国三萬（まん）の町村ありと言えど毎號（ごう）欠かさず村報を發行（はっこう）している村は只（ただ）一つ田原村のみであると自負して止まぬ」と。背景には村長の指導、村民の応援、そして私費を投じて頑張る編集員とあります。そんな大きな志のもとにあったことに本当に頭が下がる思いです。

小紙もいつか月刊田原のように読み返され、時代を語る記録になれるよう発信していきたいものです。この田原公民館報、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新春によせて

田原地区自治連合会長　松本　陽一

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、大きな地震や強い台風など災害の多い一年でした。日本のあちこちで住民に大きな被害がもたらされました。

田原地区では長年お世話になった、有線放送の運用を3月末に、機材の老朽化等の理由により残念ながら中止いたしました。

さて、本年は猪の年です。田原の住民にとっては決して好ましい動物ではありませんが、己（つちのと）の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年、だそうです。

少子高齢化の進行が進むわが地区であります、住民みなが絆を大切にして楽しく生活したいものです。昨年には地区の社会福祉計画も作成いたしました。田原地区のホームページに掲載いたしましたので、どうぞホームページをスマホで覗いてみてください。本年も様々な課題が発生すると思います、次の段階をめざして、一つずつしっかり対応してまいりましょう。

「田原ファン倶楽部」受講を終えて
～田原の自然に触れて～

右京　知念　哲

楽しかったです！心からそう思えました。当初は、ノリノリの妻と大好きな娘を送り届ける運転手の気持ち・・と言うよりも、仕事の忙しさから解放される休日くらいもっと寝かせて欲しいと思いながらの第一回目でした（本当に送っただけで、家に帰りました（笑））しかし、迎えに行った帰り道の二人の楽しげな会話に乗せられて、第二回から飛び入り参加させて頂いた結果、月に一度の田原行きがとても楽しみになりました。

芋掘りをして土に触ったのも何十年振りでしたし、普段料理をすることのない自分が野菜を切り、りんご狩りをし、かまどで炊いたご飯を頂き、お茶を摘むという人生初の体験が、本当に楽しかったし、美味しかったです。中でも、あんなにも数多くの蛍を見ることが出来たのは、とても感動しました。日頃の仕事の忙しさを忘れて、ただただ、輝いては消え、また輝く光をずっと見ていたいなと感じました。

最後になりましたが、今回こんな素敵な企画を考えて頂いた、田原公民館の泉森館長はじめ、田原の皆様、一緒に参加された皆様、そして、田原の多くの自然に感謝の気持ちを籠めて、結びとさせて頂きます。また、皆様と田原の自然の中でお会い出来ればなと思っております。本当にありがとうございました。

プチ田舎暮らし・田原
―こんにゃく作り―

今年はこんにゃくを手作りしてみませんか。手作りならではの歯ごたえと味をお楽しみください。

日時：1月24日（木）
　　午前９時半～11時半
場所：田原公民館 料理実習室
対象：奈良市在住・在勤・在学16人
費用：400円　要申込
〆切：1月16日（水）

地域の社会見学
田原の施設を訪ねて

須山バス停前「ボイスVoice」の理事長　大門正佳さんを訪ねました

取材：中北　賢
写真：倉西　毅彦

朝夕の寒さも一段と厳しくなった、12月中旬に「障がい者支援施設Voice（ボイス）」を訪ね社会福祉法人史明会理事長大門正佳さんにお話を聞きました。▼ここはどんな施設ですか。●障がい者支援施設です。「障がい者支援施設」とは都道府県知事の指定を受けて、施設をご利用いただく障がい者の方へ、入浴・排せつ・食事の介護、余暇活動の支援、生活に関する相談、その他必要な日常生活の支援を行うところです。日中の活動としては木工、手芸、アート、創作、運動、水泳などです。多くの人の声により、励まされ支えられて前進していく施設です。施設を通じ、知的に障がいのある方が、生まれ育った奈良市で、一人の市民として生活していくことを支援し続けたいと思います。▼どのような方が利用されていますか。●生活介護・施設入所では主に知的障がい者の方が対象で障がい程度区分4～6（50歳以上は区分3～6）と認定された方で、短期入所（ショートステイ）では主に身体障がい者と知的障がい者の方が対象で障がい程度区分1～6と認定された方に利用して頂いています。▼いつごろ、どのような経緯で設立されましたか。●最初香芝で障がい者施設を建てた後ボイスは平成15年4月に開設しました。▼先ほどロビーで作業されていたのは？●軽作業でプラスチックケースを組み立てています。▼定員は何人ですか。●53名、ショートステイ5名です。家庭的に困っている方とか奈良市障がい福祉課からの依頼があり、次の行き先が決まるまで緊急で預かる場合があります。言葉が話せない方やお金をお持ちで無い方も警察や市役所で預かれないので預かる場合があります。県の障害福祉課からの依頼で従業員が相談業務や虐待の講演会をしています。▼その方はどこで相談業務をされていますか？●新しく出来たバリエで勤務しています。▼他の関連施設はどのようなところがありますか。●平成19年3月に開設した特別養護老人ホームLino（リノ）（窪之庄町）や今年開設した看護小規模多機能型居宅介護事業所Varie（バリエ）（七条町）があります。▼名前の由来は何ですか。●ボイスはみんなの声を反映するという意味です。▼職員は何人おられますか。●事務3名、看護師1名、栄養士1名、指導員18名です。その他調理師は別会社から来てもらっています。▼日中の楽しみを教えてもらえますか。●日帰り旅行や1泊2日の旅行、また2・3年に一度は2泊3日の旅行を無料で連れて行きます。それから今カブトムシの養殖を始めました。▼田原でお気に入りの場所を教えてください。●中ノ庄トンネルを出て西側に開けた景色がいいですね。▼本日はありがとうございました。

「健脚集まれ！秋の国見山」を受講して　法連町S・I（82）

「健脚集まれ！秋の国見山」に参加させていただきました。

私の住まいするところからの国見山は高円山の奥に見えます。少し前までは奈良市で一番高い山といわれていましたが、そんなに高ぶらずどっしりと構えた山容は私の心を癒す山としていつのまにかファンになっていました。

時には散歩の足を延ばし何度か登ってはいたのですが、高齢になるにしたがって単独行は慎まねばならず、かといって行動を共にしてくれる友人も少なくなってきました。

今回公民館が主催される国見山登山を知り勇んで参加させていただいた次第です。

好天の中、紅葉が映える山路をたどり、山頂を経てゆったりとした空気が流れる田原の里に帰り着くまでの楽しく夢のような一日でした。それにしても館長さんをはじめスタッフの皆様方のご苦労は大変なものだったと思います。懇切な歴史・植物などの解説そのほか重厚な内容の資料作成、山道の整備、時間配分など十分なご配慮本当にありがとうございました。

１月の公民館行事とその他のお知らせ

公民館の貸館
6日からです

4日（金）田原連絡所　開所日
6日（日）田原公民館　開館日
8日（火）第6回TAWARAキッズ　14:30～16:30
　　日笠町水仙月にて職場体験
12日（土）消防団田原分団 出初式
14日（月）成人の日
15日（火）振替休館日
19日（土）平成31年 東部六地区新年懇親会
24日（木）プチ田舎暮らし・田原ーこんにゃく作りー
25日（金）第7回老春塾 13:30～15:30
　　音楽鑑賞と閉講式
移動図書館は運休します。返却は25日までに公民館へ。

都祁保健センターからのお知らせ

〇保健師による妊産婦・乳幼児健康相談
＜日時＞１月31日（木）午前10時30分～正午
＜場所＞田原公民館
＜内容＞妊娠中の過ごし方、乳幼児の発育発達（体重・身長測定）、育児相談
＜持ち物＞母子健康手帳
＜申込＞不要

〇大人の健康相談
＜日時＞１月31日（木）午後1時30分～4時
＜場所＞田原公民館
＜内容＞保健師による健康相談
＜申込＞前日までに都祁保健センター（電話0743-82-0341）へ